

図書館 だより

平成30年(2018年)冬 No. 336

- 企画展「図書館で防災・減災を考える」・・・・・・・・・・1面
- 過去の災害を「知り」、今後「備える」・・・・・・・・・・2面
- 安佐北区図書館で毎年開催している防災講座・・・・・・・・3面
- 図書館司書がおすすめするこの1冊！・・・・・・・・・・3面
- 中央図書館で実施しているビジネス支援サービスが、
地方創生レファレンス大賞「公益財団法人図書館振興財団賞」
を受賞！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4面
- 休館日のお知らせ1月～3月・・・・・・・・・・・・・・・・・・4面

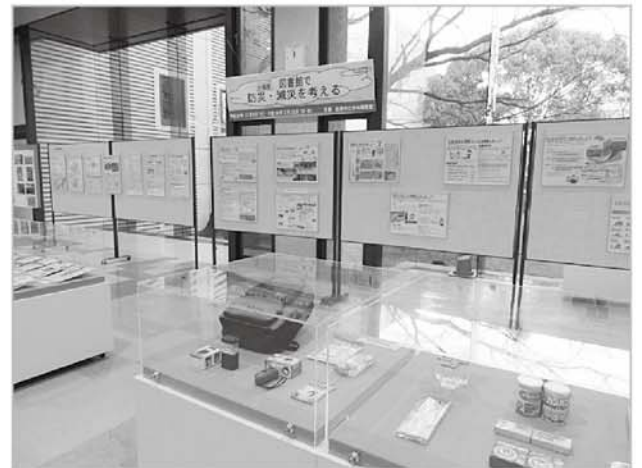
企画展「図書館で防災・減災を考える」

期間：平成29年12月9日(土)～平成30年2月12日(月・休)

大切な人を守るために災害への備えを！

日本は、もともと台風や地震などの自然災害が多いところですが、近年も多くの地域で風水害や土砂災害、巨大地震が発生しています。皆さんはもしものとき、自分自身と大切な人を守るためにどのように備え、対応したらよいのか考えていますか？

この展示は、8.20豪雨災害をはじめとする広島での災害や、阪神淡路大震災、東日本大震災などの災害の経験から教訓を学び、「防災・減災」について考えるきっかけになればという思いから企画したものです。



本展では、図書館が所蔵している、広島での災害の歴史を知ることができる『広島の気象百年誌』や『広島県災異史』などの本、災害の記録や手記、広島市地域防災計画や土砂災害ハザードマップなどの行政資料を紹介しています。あわせて、広島市危機管理室、(公社)日本図書館協会 東日本大震災対策委員会などから提供していただいた貴重な記録写真やパネルも展示しており、災害の記録や日頃の災害への備え、災害が起きた時の対処法について知り、学び、考える機会にさせていただければと思っています。

主な展示内容は次のとおりです

- ・ 8.20豪雨災害など広島で起こった災害に関する資料
- ・ 阪神淡路大震災についての資料
- ・ 東日本大震災直後の図書館の様子や図書館への支援活動の写真
- ・ 非常持出し品、家具固定グッズなどの現物



また、これら資料の展示とともに、自由に持ち帰っていただける、非常持出し品・家庭内備蓄の例が書かれたチェックリスト、防災・減災に関するチラシやパンフレットなども用意しています。

この機会に災害への備えを、できるところからはじめてみませんか？

過去の災害を「知り」、今後に「備える」

過去の災害を「知る」ことは、これからの災害への「備え」にもなります。こちらでは、過去の災害を知るための本を紹介します。

『広島県の気象百年誌』

広島地方気象台／編 日本気象協会広島支部 1983年

広島観測所（現広島地方気象台）の設立100年を記念し、刊行されたもの。沿革編、地誌編、災害編、資料編、付録で構成され、地誌編では、広島県の気象の傾向について、災害編では、豪雨・台風・高潮の各現象と広島県内の戦後の主な気象災害を掲載しています。資料編には、同気象台が実施してきた観測の成果と統計値（明治14年（1881年）1月1日から昭和55年（1980年）12月31日まで）を集録。各年の日々の天気や有感地震の記録などを見ることができます。

所蔵状況：中央図書館（広島資料室・参考書庫）、安佐南区



『広島県災異史』

箱田顕雄・石丸順一郎／共編 広島県農業協同組合中央会 1983年

編者が、過去の災害の記録や郡市町村史（誌）を多年にわたり調査、収集した自然災害資料を、年表形式でまとめたもの。収録期間は推古26年（618年）から昭和40年（1965年）までで、地震や洪水、高潮などの被災の状況を見ることができます。台風には進路図が、豪雨には天気図が併せて掲載されている事象もあります。

所蔵状況：中央図書館（広島資料室）



『ドキュメント気象災異誌』

檀上哲郎／著 広島県郷土選書編さん委員会 1990年

上記の『広島県災異史』の編集に携わった著者が、膨大な記録のなかから月日が判明している災異を366件取り上げ、一年366日の各日に起きた災異を掲載しています。春の乾燥と強風による大火、夏の水害、秋の台風、冬の寒波と火災など、四季の自然現象とそれに関連して起こった災害の事象を見ることができます。

所蔵状況：中央図書館（広島資料室・参考書庫）



『地表の変化 —風化・浸食・地形・土砂災害—』

於保幸正、海堀正博、平山恭之／著 広島大学出版会 2015年

中国地方の地形の特徴と戦後発生した土砂災害の事例が紹介されています。中国地方の地形が現在に至った経緯や、戦後から平成26年（2014年）に起こった8.20豪雨災害までの豪雨に伴う土砂災害について、その発生前から発生に至る状況を知ることができます。

所蔵状況：中央図書館（広島資料室・自由閲覧室A）



このほかにも、県史や各市町村史（誌）でも、その地域の気候や地形、過去に起こった災害などを調べることができます。また、特に大きな被害をもたらした災害は、災害ごとの記録や報告書が発行されています。図書館で所蔵している資料は、各図書館の郷土資料のコーナーや中央図書館3階の広島資料室などでご覧いただけます。貸出状況など、詳しくは職員にお尋ねください。

安佐北区図書館で毎年開催している防災講座

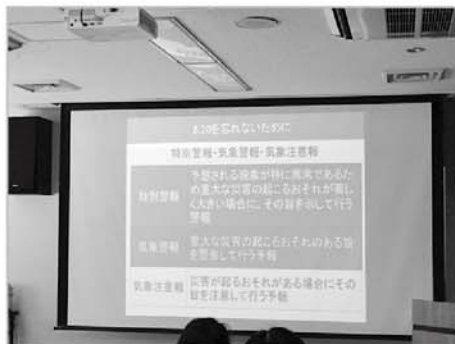
安佐北区図書館では、平成 26 年（2014 年）の 8.20 豪雨災害直後から、防災に関する図書の展示コーナーを設けるとともに、防災に関する講座を毎年開催しています。

平成 27 年度は、災害救助経験が豊富な元消防署長さんから、体験談や身を守る方法についてのお話を伺いました。平成 28 年度は、防災士の方に、身近なものでつくることができる防災グッズを、ワークショップ形式で教えていただきました。そして、平成 29 年度は、江波山気象館の学芸員さんに、サイエンスショーをまじえながら、子どもからわかる防災に役立つ気象についてお話いただきました。

安佐北区は、土砂災害で大きな被害を受けた地域も多く、被災された方も数多くおられます。

図書館は、今後も皆さんの生活に役立つ情報を届ける身近な施設として、様々な事業を行っていきます。

＜平成 29 年度の防災講座の様子＞



図書館司書がおすすめるこの 1 冊！ 防災・減災に関する本

児童書

『わかる！取り組む！
災害と防災』 全 5 巻

帝国書院編集部／編集
帝国書院 2017 年



日本の各地では、地震や集中豪雨などによる大規模な自然災害が起きています。平成 26 年（2014 年）8 月には、広島でも集中豪雨による土砂災害が起こり、甚大な被害を受けました。

本書では、災害の起こる仕組みや災害事例とともに、防災・減災に向けたまちづくりが紹介されています。また、一人ひとりが防災・減災のために取り組めることについても言及されています。

「1 地震」、「2 津波」、「3 火山」、「4 豪雨・台風」、「5 土砂災害・竜巻・豪雪」の全 5 巻で、「5 土砂災害・竜巻・豪雨」には広島の土砂災害についても書かれています。

一般書

『天地海人
防災・減災えっせい辞典』

矢守 克也／著
ナカニシヤ出版 2017 年



防災・減災の世界を「天」「地」「海」「人」の 4 つのパートに分け、「人」以外の巻でもあくまでも「人」を中心に書かれています。

その中で筆者はレジリエントな社会の重要性を述べています。レジリエンスとは、「危機的な事態を柔軟に乗り切り、スムーズに日常へと戻っていくための力」であり、「ふだん」（平常時）と「まさか」（災害時）との落差を最小化しようとする」考えです。

「ふだん」と「まさか」の接点づくり、「日常生活に組み込まれた防災の大切さ」を、筆者は「生活防災」と呼びます。「わが事」として「生活防災」に向き合う必要性を感じさせてくれる一冊です。

中央図書館で実施しているビジネス支援サービスが、 地方創生レファレンス大賞「公益財団法人図書館振興財団賞」を受賞！

図書館、書店、出版社、教育機関等が集う、図書館関連の国内イベントのひとつに「図書館総合展」があります。毎年開催されるこのイベントは、平成29年（2017年）で第19回を迎え、3日間の開催期間中には約90のフォーラム、約130のブースが開かれる大規模な催しです。また、図書館関係者が最新情報を入手し、そして研究や成果を発表する機会となっています。

この図書館総合展のフォーラムのひとつとして、平成27年（2015年）から、図書館が地域の活性化や課題解決に寄与した事例を顕彰する「地方創生レファレンス大賞」が開催されています。平成29年11月8日に、3回目の開催となる同大賞の最終審査会において、前号の「この日は何の日？」のコーナーで紹介した、「ちいさなおはぎ屋」の中村明さんの開業をサポートした中央図書館の事例が、準優勝に相当する「公益財団法人図書館振興財団賞」を受賞しました。

中村さんは、「夫婦ですと一緒で働ける仕事がしたい」と起業を考えておられ、その準備へのアドバイスを
得るために中央図書館のビジネス相談会に参加されたのが開業への第一歩でした。その後、業種・業界情報、商
圏やマーケット情報などの入手に図書館のレファレンスサービスを活用され、また、図書館の連携先であるビジ
ネス支援機関のセミナーに参加し、専門的で継続的なアドバイスや人脈も
得ることで、起業という目標を達成されました。



中村さんご家族

今回の受賞は、このような起業に関わる様々な情報を調査・提供し、関
連機関につなげる図書館の働きが新たなビジネスチャンスを生み、地域の
活性化につながったとして評価されたものです。

私たちの日常生活には様々な課題が待ち受け、時には難しい判断を迫ら
れることもあります。そんな時には、まず図書館にいられてはいかがでし
ょうか？ あなたが必要とする情報や、目標達成のためのきっかけが中村さ
んのように見つかるかもしれません。



最終審査会でのプレゼンテーションの様子

休館日のお知らせ 1月～3月

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

□ 休館日

※ 中 区 図 書 館 1月25日(木)～1月31日(水)
 ※ 湯 来 河 野 閱 覧 室 2月24日(土)～3月 2日(金)

編集・発行

Hiroshima City Central Library
 広島市立中央図書館
 (公益財団法人 広島市文化財団)
 〒730-0011 広島市中区基町3番1号
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542
 本の照会・相談専用 082(222)6440
 F A X 082(222)5545
 (携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)
 (スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>)